

デルタ株を収束させるためのお願い

命と暮らしを救う集中対策期間：令和3年9月3日(金)～12日(日)

感染力が強いデルタ株による新型コロナウイルスの感染拡大を徹底的に食い止めるため、9月3日から12日までを

「命と暮らしを救う集中対策期間」とします。

県内の最近の感染事例（県外往来、学校・部活（スポーツ）、会食、職場・家庭等）を踏まえ、一部の事業者に過度に負担をかけるのではなく、少しずつ負担を分かち合い、県民の皆様力を広く結集して危機を乗り越えたいと考えております。

どうかご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

———— 期間中は、特に次の行動にご協力ください ————

- 1 大人数の集まりや人混みを避け、人と会う機会を普段の半分以上に。
- 2 自宅等も含め、茶飲み話や普段会わない人との会食をしない。
- 3 県境をまたいだ移動（旅行、帰省、出張など）を取りやめる。
- 4 会話の際はマスクを着用し、室内・車内の換気を徹底する。
- 5 体調が悪い時には、すぐに医療機関に相談する。
- 6 ワクチンの接種について検討し、接種後も感染対策を徹底する。

県外との往来等を行わなければならない方、ワクチン接種を受けられない方などもいらっしゃいます。

差別や誹謗中傷ではなく、「思いやり」と「支え合い」の心で、「ご自身と大切なご家族の命」を守り、「多くの方の命と暮らし」を救うための行動にご協力をお願いいたします。

令和3年8月30日 長野県知事 阿部 守一

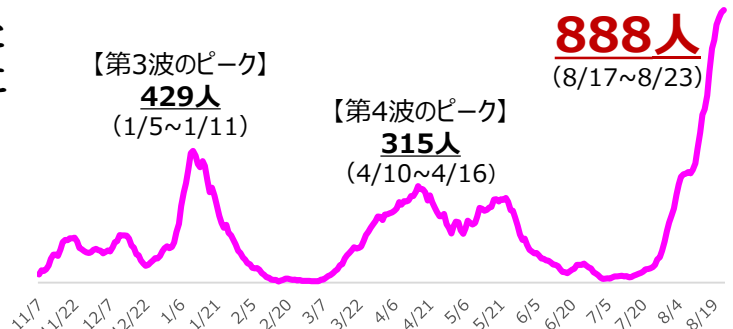
なお、期間中は、長野県立美術館など県の公共施設は原則休止するとともに、市町村にも同様の対応の検討をお願いしています。ご不便をおかけしますが、何とぞご理解のほどお願い申し上げます。

想定を超えるデルタ株の脅威

1 従来株と次元の異なる強力な感染力

従来株に比べ感染力が1.32倍高いと推定されたアルファ株よりもさらに1.5倍高い可能性があります。

1週間の新規陽性者数の推移
(R2.11初旬～)

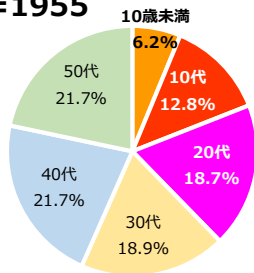


2 若年層の感染者割合が大幅に増加

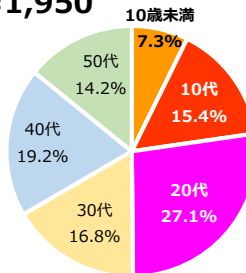
第4波に比べ20代までの若年層の感染者割合が増加しています。

ワクチン接種の進んでいる60代以上を除いた年代別の感染者割合 (8/23時点)

第4波
N=1955



第5波
N=1,950



10歳未満 +1.1pt
10代 +2.6pt
20代 +8.4pt
他の年代の割合は低下

3 50代以下の感染者の中等症率が上昇

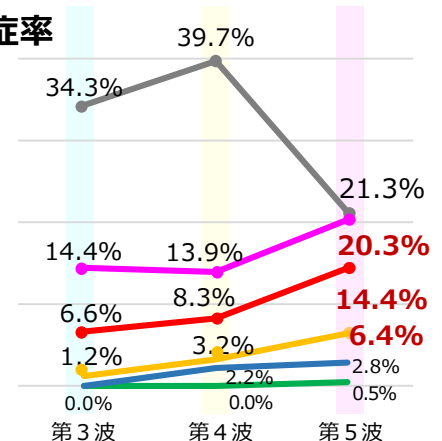
第3波・第4波と比べ、40-50代の中等症*者の割合が大幅に上昇しています。10-20代の若年層でも中等症者の割合が増加しています。

※ 中等症とは、呼吸困難や呼吸不全などにより、酸素投与が必要な状態のことです。

※ 60歳以上の中等症率が大幅に低下しているのは、ワクチン接種が進んでいるためと推察されます。

年代別の中等症率
(8/23時点)

60歳以上
50代
40代
30代
20代
20歳以下



ワクチンの感染予防効果が
デルタ株に対しても
有効であることは、
データからも明らかです

65歳以上のワクチン接種歴別の新規陽性者数
(人口10万人対 対象期間 8/18-8/20)

接種しなかった方の感染者数は、
1回接種の3.6倍、2回接種の12.3倍に!

※令和3年8月25日 第49回新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード資料より

